

序

自治大学校は、先に「自治大学校六十年の歩み」を刊行してから更に10年の星霜を経て、ここ武蔵野の地において、昨年創立70周年を迎えました。

昭和28年の創立以来、自治大学校で研修を重ねた研修生は、6万6千人にも上り、その一人一人が地方分権の担い手として、それぞれの地域を支え活躍されております。この機会に、「自治大学校七十年の歩み」を刊行し、創立の経過からその後の運営の業績に関する記録をまとめ、参考に供するとともに、今後の学校運営に資することといたしました。

本書は、「自治大学校六十年の歩み」を基礎として、更にその後の10年の歩みの記録を補い、自治大学校の70年の歩みを総まとめにしたものであります。当時の事情に必ずしも詳しくない現在の本校職員が分担執筆したものでありますから、忠実に意を尽くさない点もあろうかと思いますが、大方の御批判御叱正を仰ぐとともに御寛容を乞う次第であります。

自治大学校は、平成15年に立川に移転してからも20年が経過しました。恵まれた武蔵野の大地と広々とした空間を十分に活用し、豊かな研修環境と生活空間の中、研修を実施しております。

少子高齢化の進展・生産年齢人口の減少、個人のライフプラン・価値観の多様化、大規模災害・感染症等の新たなリスクの顕在化、デジタル社会の進展等、地方公共団体を取り巻く状況が大きく変化していく中、自治大学校は、常に研修の在り方に改善を加え、時代が求める公務員の育成に向けて、今後とも努力を傾注していく所存であります。

令和6年3月

自治大学校長 宮地 俊明